

感染症情報 6月10日～16日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①手足口病	1,979例(堺市 207例)
②感染性胃腸炎	1,106例(堺市 59例)
③溶連菌感染症	564例(堺市 72例)
④ヘルパンギーナ	397例(堺市 58例)
⑤伝染性紅斑	188例(堺市 26例)

府下インフルエンザ定点300医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	96例(堺市 10例)
---------	-------------

感染症報告数は前週比13.4%増の4,648件であった。

報告数の第1位は手足口病で、以下感染性胃腸炎、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑の順であった。

手足口病が府下で42%増、堺市で54%増であった。堺市では定点当たり7.05→10.90であり、警報レベル継続中である。当院の周囲でもまだ多い。感染性胃腸炎は府下で前週と比して11%減、堺市は前週と同数であった。溶連菌感染症は府下で14%減、堺市で16%減となった。ヘルパンギーナが府下で52%増、堺市で36例→58例(61%増)であった。伝染性紅斑は府下で11%増、堺市で20例→26例であった。

インフルエンザは府下で前週127例→今回96例に減り、堺市でも前週19例→今回10例とさらに減った。

麻疹の報告はなかった。風疹の報告が府下で1例あった(堺市はなし)。『風しん第5期定期接種』が開始されているが、今年度はまず昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生の男性にクーポン券が送付される。堺市の発送は6月20日からとのこと。クーポン券は他の市町村の医療機関などで使用するのに必要となる(堺市在住の対象者に限れば、堺市内の契約医療機関を受診するにはクーポン券は不要)。